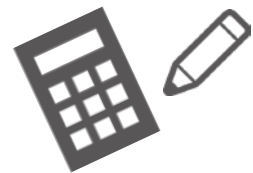


黒部市の財政状況

令和元年度

決算報告



市議会9月定例会において認定された一般会計、特別会計および企業会計の決算を報告します。
皆さんから納付いただいた税金や国・県からの補助金などの使われ方や市の財政状況などをお知らせします。

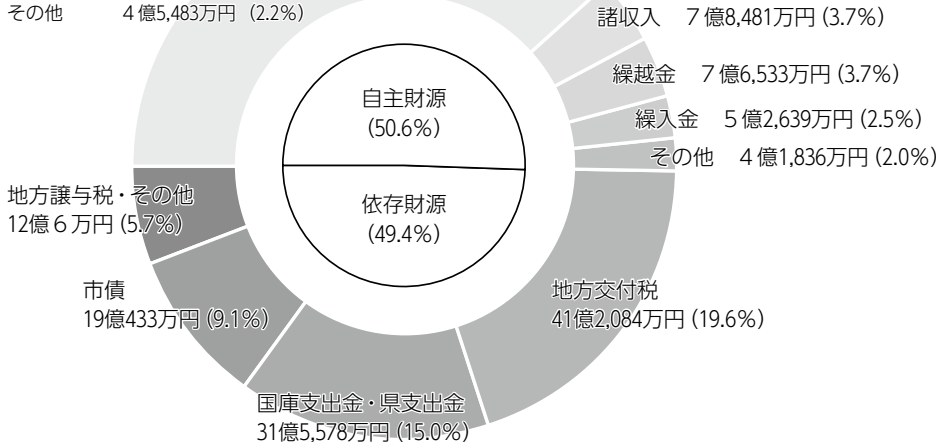
◆問合せ 財政課 ☎54-2116

一般会計 歳入 210億1,312万円

市税 81億3,722万円 (38.7%)

(内訳)

固定資産税 49億 542万円 (23.3%)
個人市民税 23億6,730万円 (11.3%)
法人市民税 4億 967万円 (1.9%)
その他 4億5,483万円 (2.2%)



一般会計歳入

一般会計の歳入は前年度に比べ、5億5,760万円(2.6%)の減となりました。

歳入のうち、市が独自に調達できる自主財源は106億3,211万円と、前年度に比べ2,358万円(0.2%)の増となりました。これは法人市民税が4,295万円(11.7%)増加するなど、市税で1億93万円(1.3%)増となったためです。

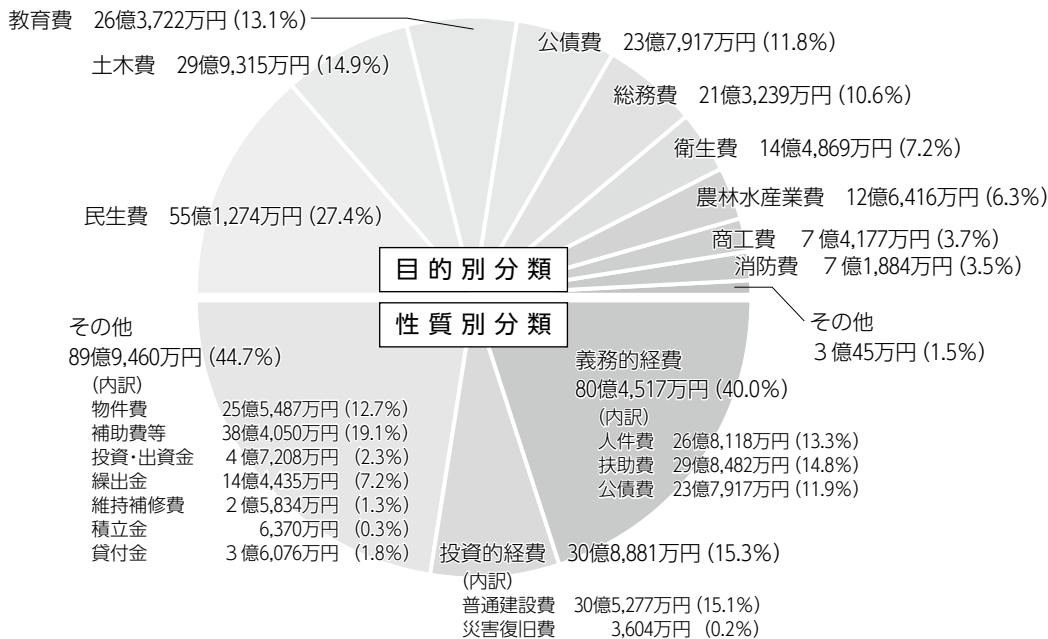
また、国や県から交付される補助金などの依存財源は103億8,101万円と、前年度に比べ5億8,118万円(5.3%)減となりました。これは、借金による資金調達である市債が6億4,424万円(25.3%)減少したためです。

特別会計および企業会計の決算状況

特別会計	歳入	歳出
国民健康保険事業	37億4,684万円	36億5,154万円
後期高齢者医療事業	10億7,568万円	10億7,524万円
発電事業	1億9,015万円	1億9,015万円
簡易水道事業	2億4,952万円	2億3,451万円
地域開発事業	885万円	885万円
牧場事業	3億 431万円	3億 431万円
フィッシャリーナ事業	1,333万円	1,333万円
企業会計	歳入	歳出
病院事業		
収益的の事業	116億1,606万円	117億9,199万円
資本的の事業	1億8,940万円	10億4,788万円
水道事業		
収益的の事業	3億4,162万円	3億3,500万円
資本的の事業	2億6,445万円	4億2,434万円
下水道事業		
収益的の事業	17億7,560万円	17億4,141万円
資本的の事業	12億4,303万円	18億4,497万円

* 収益的の事業については、決算額から消費税を除く。

一般会計 歳出 201億2,858万円



一般会計歳出
一般会計の歳出は前年度に比べ6億7,681万円(3.3%)の減となりました。
歳出のうち目的別で見た場合、最も大きいのは民生費

で、主に高齢者福祉や障がい者福祉、子育て支援などに使われたお金です。前年度に比べ505万円(0.1%)増となりました。
次いで大きいのは土木費で、道路や河川、公園などの整備・

維持管理、道の駅などの建設に使われたお金です。前年度に比べ、2億7,508万円(10.1%)増となりました。
また、性質別で見た場合、最も大きいのは補助費等で、消防活動費やごみ処理等にかかる一部事務組合への負担金や各種補助金などに使われました。

市の財政は健全状態

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき算定された比率(表1)は、イエローカードである早期健全化基準値を全て下回っており、また実質公債費比率、将来負担比率ともに、財政状況は健全な状態を維持しています。

市債残高(表2)は前年度より減となりました。社会資本整備分の借り入れにあたって、地方交付税措置のある市債を最大限活用することで、市の実質的負担額を抑制するとともに、今後も財政健全化に努めます。

令和元年度 決算報告

令和元年度一般会計	
歳入	210億1,312万円
歳出	201億2,858万円
差引	8億8,454万円

令和元年度一般会計は、8億8,454万円の黒字決算となりました。

表2 市債残高と地方交付税措置(見込)額

	R元年度	H30年度
市債残高(A) (主な内訳)	305億1,366万円	308億5,179万円
社会資本整備分	188億7,282万円	188億7,230万円
臨時財政対策債	101億5,107万円	101億2,302万円
地方交付税措置(見込)額(B)	197億5,081万円	201億93万円
市の実質的負担額(A-B)	107億6,285万円	107億5,086万円

? 市債とは

市債とは借金による資金調達のことです。市債残高のうち、社会資本整備分は、道路、小中学校等の整備に要した借金です。臨時財政対策債は、本来国から交付される地方交付税の一部を、市が代わりに借金したもので、この返済相当額は後年度に地方交付税で全額措置されます。

表1 財政指標からみた黒部市の財政状況

比率名	指標の概要	R元年度(H30年度)	早期健全化基準値(イエローカード)	財政再建基準値(レッドカード)
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の比率	— (—)	13.00%	20.00%
連結実質赤字比率	全会計を対象とした赤字の比率	— (—)	18.00%	30.00%
実質公債費比率	収入から借金返済等に充てられた比率	11.5% (11.3%)	25.0%	35.0%
将来負担比率	収入に対して将来負担が見込まれる負債の比率	115.0% (111.4%)	350.0%	
資金不足比率	公営企業ごとの資金不足額の事業規模に対する比率	— (—)	経営健全化基準値 20.0%	

*赤字額および資金不足額がないため、実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は「—」と表示